



2015年4月

## CeBIT 2015 結果報告

### CeBIT の方程式— 情報 + 技術革新 + インスピレーション = 投資の増加

ドイツ・ハノーバー国際見本市会場で2015年3月16日（月）～20日（金）に開催された国際情報通信技術見本市 CeBIT（セビット）は、開催を重ねる度に成長を続けている。CeBIT は今年も B2B に特化した世界屈指の IT・デジタル産業見本市として、改めてその地位を際立たせた。それは拡張された展示エリア、より多くの来場者数や中小企業からの参加、より豊かな国際性、最高の会議プログラム、成約額の増加が物語っている。ドイツメッセ CeBIT 担当取締役副社長 Oliver Frese（オリバー・フレーゼ）は当見本市閉幕時の記者会見で「CeBIT 2015 は世界中に大きなインパクトを与えた。ここで得られた情報、技術革新、インスピレーションが投資につながっている。CeBIT は約束通りのものを提供したと言える」と語った。世界 70 カ国から 3,300 社を超える企業が CeBIT 2015 に出展した。

#### - デジタル産業の活性化を導いたメインテーマ「d!conomy」

今年のメインテーマである「d!conomy」は、経済社会のあらゆる分野で急速に進むデジタル化に焦点をあてた。「このメインテーマはまさに的確であり、デジタル経済に前向きなインパクトを与えている。CeBIT の来場者は、デジタル経済における道しるべを必要としている。特に、中小企業は大きな試練に直面していることを自覚しているため、自社の目標に到達するべく CeBIT を活用した」とフレーゼは述べる。従業員が 1,000 名以下の企業からの来場者の割合は大幅に増加した。「また、実質的にすべてのユーザー産業で関心が高まっていることも注目に値する」とフレーゼは語る。

モノのインターネット（IoT）やサプライチェーンのデジタル化に関する多様なアプリケーション、契機、ソリューションを中心に、商談の大半が展開された。また、統合型業務ソフトウェアパッケージ ERP、顧客関係管理システム CRM、ビジネスインテリジェンス、電子対抗手段 ECM ソリューションの提供企業は、著しい需要増加に注目していた。「ビジネスを始める人にとって、十分な情報の獲得は必要不可欠である。これがまさに、CeBIT が提供することである」とフレーゼは述べた。

#### - より多くの中小企業による参加

特に、若い企業のそうした関心は喜ばしい。「CeBIT には若い企業が多く、スタートアップが CeBIT の中心に定位置を獲得している。これらの企業はサプライチェーン



を改革し、従来の価値をひっくり返すような革新的なビジネスモデルを本イベントに持ち込んでいる」「SCALE 11」と「CODE\_n」の展示ブースで終日行われたフォルクスワーゲンやドイツ大手エネルギー会社 RWE のイベントなど、数多くのピッチから、デジタルイノベーションをユーザー産業に取り込むための新たな方法が打ち出された。Frese は、「我々はスタートアップに関する活動を今後も増やすつもりである」といい、さらに「ホール 9 は今回も、IT 産業の先進性と可能性を印象づけた」と述べている。ここの展示カテゴリー「Research & Innovation」では、森林学やエレクトロモビリティといった様々な用途に適用できる、海外の研究施設や大学のプロジェクトも紹介された。

Frese は CeBIT Global Conferences のさらなる発展を喜び、「このカンファレンスによって、CeBIT はデジタル界の国際イベントの頂点に躍り出た」という。世界中から 200 名の登壇者が、デジタル化のあらゆる局面について対話を促進した。CeBIT Global Conferences では、月曜日のカンファレンスを開会したソフトウェア企業 SAP の CEO Bill McDermott (ビル・マクダーモット) 氏、インドのソフトウェア企業最大手である Infosys の CEO Vishal Sikka (ビシャル・シッカ) 博士、中国の通信機器メーカーXiaomi (シャオミ) の創設者である雷軍 (レイ・ジュン) 氏、アメリカの経済学者 Jeremy Rifkin (ジェレミー・リフキン) 氏、世界で最も有名なハッカーである Kevin Mitnick (ケビン・ミトニック) 氏、そして、最後に特筆すべきは Edward Snowden (エドワード・スノーデン) 氏との中継をつないだ調査報道記者の Glenn Greenwald (グレン・グリーンウォルド) 氏といった業界トップの見識に直接触れることで、来場者にインスピレーションを絶えず与え続けた。グリーンウォルド氏とスノーデン氏の講演では、それだけで 4 万人のオンラインビューワーを惹きつけた。CeBIT Global Conferences のオンラインプログラム全体では、閲覧者数は 10 万人に上った。「このような素晴らしい統計データが得られたのは、今回が初めてである。見本市とカンファレンスが密接にシンクロしたことで、デジタル界の責任を担う人々にとって、CeBIT がインスピレーションの源になっている」

中国が CeBIT の公式パートナーカントリーとして参加したことは、来場者を喜ばせた。Huawei (ファーウェイ)、ZTE、Alibaba (アリババ)、Xiaomi (シャオミ) などの大手企業を含め、600 社を超える中国企業があらゆる分野で自社製品を出展した。



「今年の CeBIT は、デジタル化の主要分野で成長し続ける中国の勢いを際立たせ、IT 業界の勢力地図が東に移動していることを明らかにした」と Frese は語る。

#### - 成約額の増加

経営者やトップマネージャーは今回、CeBIT をかつてないほどに活用した。「業者の割合はこれまで同様 90%であったが、投資額が大幅に拡大した」とフレゼは語る。仕入れを見込んで CeBIT へ訪れた業者は、期間中 IT・デジタルアプリケーションに平均 15 万ユーロを投資し、これは 2014 年と比べて 15,000 ユーロの増加となる。海外からの業者は、同じ統計で 20 万ユーロという、これまでで最高額となっている。

「これらの数字から、CeBIT が主な情報源や方向付けとして役立っているだけでなく、投資を牽引する役割もさらに大きくなっていることがわかる」と Frese は指摘する。

尚、日本からの出展社は 17 社（海外法人含む）。ブラザー工業株式会社、セイコーエプソン株式会社、富士通株式会社、京セラドキュメントソリューションズ株式会社、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社、日本電気株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ、株式会社ネットジャパン、株式会社 PFU、パナソニック株式会社、株式会社リコー、京セラミタ株式会社、株式会社マウスコンピューター、コーア株式会社、日本コントロールシステム株式会社、日本プリメックス株式会社。

また、来場者数は 2014 年を上回った。FKM（ドイツ見本市自主統計協会）の調査では来場者数は 6%増の 20 万 1 千人であった（前回は 18 万 8 千人）。国際標準の記録方式によれば、参加者数は 22 万 1 千人に膨らんだ（前回は 20 万 8 千人）。「展示エリアが拡大しただけでなく、来場者数の増加も実感した」と Frese は総括する。

来年の CeBIT は 2016 年 3 月 14 日（月）から 18 日（金）に予定されている。2015 年の次回 CeBIT は、オーストラリア・シドニーで 5 月 5 日（火）から開催される。

リリース全文は[こちら](#)、その他リリースや写真は[こちら](#)からダウンロード可能です。見本市に関する詳細は下記へお問い合わせ下さい。

#### **Deutsche Messe AG**

Messegelände, 30521 Hannover, Germany  
Tel. +49 511 89-0 Fax +49 511 89-36694  
[info@messe.de](mailto:info@messe.de) [www.messe.de](http://www.messe.de)